Landscape with Terraces Retained by Stonework of

SOTOME

重要文化的景観 長崎市外海の石積集落景観

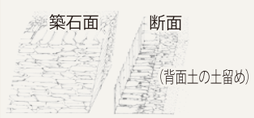
じゅうようぶんかてきけいかん ながさきしそとめ いしづみしゅうらくけいかん

回遊コース1

明治期のカトリック施設群とその一帯に広がる集落景観

石積みの種類

石垣 ＜用途＞：宅地や段畑の造成

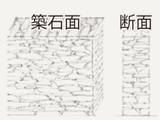


特徴：片面のみが石積み面として表出

石築地 ＜用途＞：防波壁・防波堤

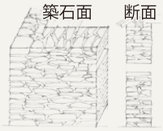
特徴：底部の幅が上部の幅より広い両面に勾配を有する

石塀 ＜用途＞：防風・防潮壁・宅地の境界壁



特徴：垂直に自立した石積み 空積・練積の両方が存在

石壁 ＜用途＞：ネリベイ建物の内外壁



特徴：垂直に自立した石積み 練積のみ

【アクセス】

■**バス（約60分）** 長崎駅前バス停から【長崎バス「桜の里ターミナル（板の浦連絡便）行き】乗車 ～ 桜の里ターミナルバス停から【さいかい交通「板の浦」行き】に乗換え～「出津文化村」バス停下車

■**車・バイク（約50分）** 長崎駅から国道206号線、202号線

長崎市外海の石積集落景観 検索

お問い合わせ｜**長崎市企画財政部 世界遺産推進室** 〒850-8685 長崎市桜町2-22　TEL 095-829-1260／FAX 095-829-1261／E-mail sekaiisan@city.nagasaki.lg.jp

長崎市外海の石積集落景観 回遊コース1

明治期のカトリック施設群とその一帯に広がる集落景観

消費カロリー 約189Kcal **モデルコース**（徒歩／60分 約2.3km）※駐車場（外海歴史民俗資料館、出津集落駐車場）から歩いて移動をお願いします。

A

遊歩道

出津集落駐車場

B 明治30年代頃のド・ロ神父記念館周辺

市道出津線の石垣
道路を拡幅する際にコンクリートよう壁を石積みで化粧している。

特徴的な景観
視点場
トイレ
駐車場
説明板
誘導サイン
バス停
50m

旧出津小学校前
出津集落駐車場
安寧橋
出津川
出津
出津文化村
姉妹都市公園
遠藤周作「沈黙の碑」
スタート&ゴール
view
202

C 野中集落 江戸時代から家屋や畑、墓地などの土地利用が継承されている。

1 外海歴史民俗資料館
（世界遺産 資料展示）

外海地区の歴史、民俗、文化、独特の石積集落景観を映像やパネルで詳しく紹介している。また、キリシタンの歴史、かくれキリシタンにまつわる資料を豊富に展示している。

■開館時間／9:00～17:00 ■休 館 日／12月29日～1月3日 《有料》

2 旧出津救助院

ド・ロ神父が私財を投じて設立した授産施設。授産場、薬局、旧製粉工場、マカロニ工場の４つの建物があり、中心的な建物である授産場は1883（明治16）年に建設された。

国指定重要文化財

■開館時間／火～土 9:00～17:00 日曜日11:00～17:00（最終受付16:30）
■休 館 日／月曜日、12月29日～1月3日 《有料》

3 旧出津救助院のド・ロ塀

旧出津救助院の入口から坂を下ったところにある、ド・ロ神父が伝えた西洋の技術を応用して積まれた石塀。目地材として赤土や砂のほかに石灰を混ぜて強度を増し、より高い壁を作った。

4 ド・ロ神父記念館

1885（明治18）年にド・ロ神父により鰯網工場として建設され、1886（明治19）年からは保育所として利用された。現在はド・ロ神父にまつわる品を展示している。

国指定重要文化財

■開館時間／9:00～17:00 ■休 館 日／12月29日～1月3日 《有料》

5 ド・ロ神父の里道

ド・ロ神父が利用した旧出津救助院と出津教会堂をつなぐ道。現在も「ド・ロさま道」と呼ばれ地域の人々に親しまれている。

6 小田平（こたびら）のド・ロ神父井戸

水不足を解消するため、ド・ロ神父が設置した井戸。くみ上げた水はド・ロ神父記念館（旧鰯網工場）の横に設置された水タンクに送られ、地域の人々が自由に利用したといわれている。

7 出津教会堂の石垣

1881（明治14）年、出津教会堂建設に合わせ築かれた石垣。出津教会堂の百周年事業（昭和56年）の際、地域でとれる結晶片岩で修復された。

8 出津教会堂

1882（明治15）年、ド・ロ神父の設計、工事監理により建設された教会堂。２回の増築を経て 1909（明治42）年に現在の姿に。外壁は煉瓦造りを漆喰で固め、玄関周りは石造り、屋根は浅瓦葺、内部は木造である。

国指定重要文化財

9 旧出津小学校の石垣

1963（昭和38）年に現在の場所に出津小学校が建設された際に築かれた石垣。地域の人々が参加して工事が行われ、地域の石工職人の指導のもと、固い地盤を覆うように築かれた。

10 野道共同墓地（ド・ロ神父の墓）

出津教会堂信徒の共同墓地。信徒が交代で作業奉仕し、1898（明治31）年の完成までに10年を要した。ド・ロ神父もこの墓地に眠っている。また上から 1･2 段目には外海独特の石積みの墓が残っている。

11 ネリベイ建物

ド・ロ神父が伝えた建築技術に影響を受けて建てられたネリベイ建物。以前は3階建てであったが現在は1階のみとなっている。四方とも厚いネリベイで囲まれ、内部は柱のない広い空間になっている。

※ド・ロ神父／フランス人宣教師ド・ロ神父は、1879（明治12）年に外海地域の主任司祭として赴任。宣教のみならず、医療・土木・建築・農業技術などの普及、社会福祉の充実や教育文化の発展に尽力した。現在でもド・ロ神父の教えは受け継がれており、外海地域では尊敬をこめて「ド・ロ様」と呼ばれている。

見学する際は、私有地には立ち入らないなど、マナーを守り、所有者や近隣に住んでいる人へ迷惑をかけないようお願いします。